



ホマッグジャパン 大阪本社ハウスメッセ

国産エッジ材でレーザーテックを実演

2機種で新型コントローラ登載

4月24～26日、本社ショールーム(大阪府東大阪市)

ホマッグジャパン(株)(安居実社長)は4月24日(木)～26日(土)の3日間、大阪本社・ショールーム(大阪府東大阪市島之内2-4-15)でホマッグジャパン大阪本社ハウスメッセ2014を開催する。国産エッジ材を使ったレーザーエッジ縁貼技術や操作用コンソールの最新モデル・パワータッチを紹介するとともに、家具産業用の本格CAD/CAMソフトウェアをテーマにしたセミナーも開催する。

メイン機種はレーザー縁貼ユニットを搭載したレーザーテック・アンビション2264(laserTec Ambition 2264、ホマッグ社)と、CNC技術では5軸ドライブ5Cメインスピンドルを搭載した5軸CNCのエントリーモデル・ヴェンチャー316Mフューチャー(Venture 316M Future、ホマッグ社)の2モデル。レーザーエッジバンダーでは

パネフリ工業(株)(京都府長岡京市一里塚2-11、藤田哲英社長)の国産レーザーエッジで加工実演を行う。両モデルとも次世代型コントローラ・パワータッチ(powerTouch)を搭載している。パワータッチはホマッググループ共通なので、種類の異なるモデルを納入した場合でも、同じように操作が可能。

CNC技術ではヴェンチャー316Mフューチャーに加え、ベストセラーモデルのヴェンチャー108M(ヴェーケ社)、2台のマシニングセンターのほか、設置面積僅か5㎡のBHX050エディション(BHX050 Edition、ヴェーケ社)の3モデルを中心に展示する。

縁貼加工ではメイン機種のレーザーテック・アンビション2264のほか、ミドルクラスモデル(縁材厚0.4～8mm)のアンビション1430FC(Ambition 1430FC、ブラ

ント社)、コンパクトタイプ(縁材厚0.4～3mm)のアンビション1200(Ambition 1200、ブラント社)の3モデルで加工を実演する。

CNC、縁貼機のほか、切断加工ではハンドリング・システムやカットライトなど豊富なオプションが搭載可能で集塵能力(加工品質改善)と最速レベルの加工サイクルを実現するハイクオリティ・ランニングソーHPP300/32/32(HPP300/32/32、ホルツマ社)、また、縁貼加工のワンマンオペレーション化でマンパワー合理化と30%の生産性向上を実現する縁貼部材リターンコンベアZHR02(ZHR02、リグマテック社)など、木材加工の多様化するニーズに応える多彩な技術情報を提供する。

開場時間は午前9時30分～午後5時、セミナーは午前(11時～)と午後(2時～)の一日2回開催する。